

**横田基地問題
を考える会**

ニュース NO.21

連絡先
電話&FAX 0428-22-6273

ホームページ アドレス
yokota-peace.sunnyday.jp

第5回総会

組織と運動の前進を！

一八人が発言／三人の入会も…

議長に星野さんを選出し、活動報告、決算報告、会計監査報告の後、島田世話人が次の基調報告を行いました。(要旨)

「2012年3月、横田

基地に航空自衛隊航空総隊司令部が府中から移転してきて、米軍との共同訓練、基地の共同使用が拡大している。

実践経験豊かな米軍から

知識や技術を習得して自衛隊の能力を向上させている事態が明らかにされた。

一方、東京都と基地周辺の5市1町で「東京都と周辺市町連絡協議会」を結成し、国と米軍司令部あてに

「基地の整理・縮小・返還や日米地位協定とその運用について、適切な見直し」

等を求める動きもある。」

その後一八名の方が発言されました。

横田基地の撤去を求める西多摩の会や沖縄県民と連帯する府中の会からも発言がありました。

米軍が音楽などで学校と交流砂川事件判決の悪用に抗議

横田基地の米軍が地域の小学校と交流音楽会を行っている事が指摘されました。

この事に対する批判がな

いことに危機感を感じたという意見が出されました。

新しい世話人会

- | | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 井出 由美子 | 折井 暁 | 後藤 太刀味 | 島田 清作 | 清水 多恵子 | 下村 三郎 | 高木 美栄子 |
| 糸永 辰文 | 岩田 克彦 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 |

- | | | | |
|-------------|-------|-----------|-------------|
| 近森 拡充 | 盛岡 暉道 | 古家 教子 | 星野 直之さん |
| 橋本 左内 | 會計監査 | 今回で退任された方 | 大変ご苦労さまでした。 |
| 大変ご苦労さまでした。 | | | |



- 1、会員をふやし、「組織強化」をはかる **確認された**
 - 2、「ニュース」を隔月刊で定期発行する **「活動方針」**
 - 3、「学習講演会」の年3回開催をめざす (要旨)
 - 4、パンフ「わかるわかる横田基地—入門編」の改定版を発行する
 - 5、オスプレイ配備反対を中心に立川駅頭宣伝を隔月で行う
 - 6、ひきつづき「各市への要請 懇談」を重視して取り組む
 - 7、「市民交流集会」の成功のため実行委員会に参加し努力する
- これまで連帯してきた各団体との連携を強める

5回目の総会とあって、皆さんの努力の積み重ねがみられ、これまで活動に参加出来なかった多かったのが残念でした。

横田基地問題を考える会は、日ごろあれこれあって、見過ごしにしてしまいがちでしたが、重要な運動なので、あれこれの中に入れるべきだと思います。

それにしても健康が第一です。

末浪さんの資料はとても参考になりました。

昭島市 古家 教子

横田空域の問題を取り上げて欲しいと思います。

沖繩に行っても、米軍の空域があつて、民間機は無理な飛行を強いられています。

横田空域も広大で、成田空港の開設や羽田空港の拡張にも、影響してきました。

横田空域の問題を取り上げることで、若者の関心を引き、会への参加も広がるのではないかと考えます。

東大和市 堀越 裕子

みなさんの積極的な発言を聞いていて、極めて切迫感があることを感じました。やはり横田の会の人たちは皆さん命と生活を侵される状況にあることがひしひしと伝わる発言でした。

それに比べて私たち沖繩の会はどうでしょう。

横田の人たちほど切迫感がないのではないかと。

特に自分が運動しなくても命や生活を脅かされることはないのですから。

しかしはつきり言えることがありません。

それは、たとえ本土から米軍基地を追い出すことができて沖繩から追い出すことは難しい。

しかし、沖繩から米軍基地がなくなれば本土にもなくなる、ということですね。

沖繩県民と連帯する府中の会 新原 輝久

今日は勉強になりました。

立川平和委員会も活動を再開させて、こうした取り組みに組織的に関わっていきたいと思います。

横田基地のフィールドワー

横田基地のフィールドワー

横田基地のフィールドワー

クも検討を。第3日曜日の座り込みを他団体との連帯という位置付けでなく、「考える会」としての方針に位置付けることが必要だと思います。

立川市 小玉 博美

私にとって新しいことばかりでした。横田基地について、安倍さんについて、

など、各地域の活動している人たちと手をつないで運動を広げ、次の世代の人に知らせていきたい。

若い人は自分には関係な

時番の出る会

感想・要望など……

いと思っているようなので、時間がかかってもこれから人生にかかわるのでインターネットで広めたいかもしれない。

大きな集会和小さな行動で細く長く広まって欲しいです。

体力も必要でしょう。

若い人にどんどん参加してもらえように考えてみてください。

私も8歳過ぎになり、いつまで活動できるかわかりませんが、若い人がいるだけで、エネルギーをもらい、力になり新しい考えも貰えますから。

立川市 田中 アイ

この会は共有できる仲間だけになっていく感じになっているが、九条の会のようにもう一回り広げる必要があるのではないかと。

そのためには分かりやすい呼びかけの宣伝チラシを作ったらいかがでしょうか。

町・丁目など小地域単位で、顔の見える住民との話し合う場をつくり、文字通り草の根からの共同を進め

る運動が必要ではないか。

町・丁目地域での①ハンドマイク宣伝

②全戸配布③訪問行動での対話④集いなど検討して欲しい。

昭島市 高橋 行雄

手際良いお運びさすがだと思ひ、感謝申し上げます。

レジメも利用しやすいと思ひました。

パンフレット①入門編を改訂との事、なるべく早く出してください。

「平和のための戦争展」の各実行委員会で、広く活用されるようにしたらと考えます。

よろしくお願ひします。

今夏も「平和のための戦争展・小平」を中央公民館で実施します。

また、会場で頒布したいと考えております。

島田さんが中心に取り組みの様子ですが、「砂川最高裁判決」を内容的に抹消する訴訟の成功が重要で

す。

す。

す。



変貌する横田 — 実戦基地化 —

米軍 激増する 実戦訓練

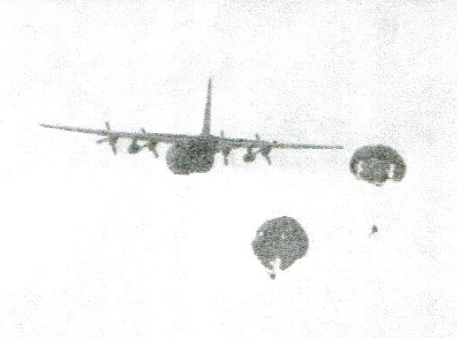
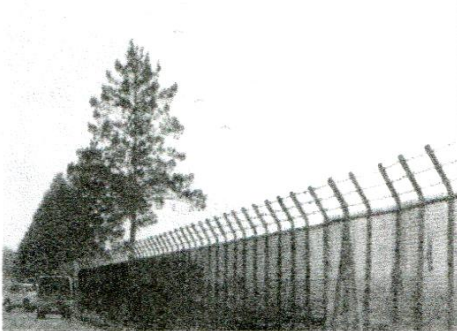
例えば、今年の二月二十五日の午前中は、大型輸送機C-17A大型空中輸送機KC-10Aなど、午後は、C-130Hヘリなどによる、パラグライダーやパラシュートを使った高度1000m位からの人員降下訓練などが、次々に行われました。

このような激しい危険な訓練は、去年から現在も、同じように続くようになっています。

これらの訓練によって、騒音の被害が増えています。が、何より、基地周辺の市町全体での誤人員降下や墜落、落下物など事故の危険が激増しています。

2013年3月末 約800名 (内訳) 航空総隊司令部 約270名 気象関連部隊 警務関連部隊 約40名 作戦システム運用隊 約380名 作戦情報隊 約120名	2014年3月末 約900名 (内訳) 航空総隊司令部 約260名 航空戦術教育導団 約60名 気象関連部隊 警務関連部隊 約40名 作戦システム運用隊 約390名 作戦情報隊 約150名
---	---

周辺の市町が、今までのような「基地の通常の使用の範囲内だから」と無関心でいることは、到底、許されない事態であることを認識する必要があります。



自衛隊は膨張する

航空自衛隊横田基地は、一二年三月に府中の自衛隊基地から移駐してきたときは、隊員は約七六〇名だったのに、今年の三月までには九〇〇名に増員されるそうです。

しかも、この中には、「航空戦術教導団」というものが新設されて、航空総隊司令部から三〇名、全国の航空自衛隊から三〇名が当てられる予定らしい。私たちは、航空総隊司令部というものは有事には全国の航空自衛隊を指揮する

権限を持っているのだから、七六〇名のままで十分活動していけるものだと思うのだが、それは間違いで、日米の基地司令部の方は、最初から、自衛隊横田基地の創設に成功すれば、あとはこういう風に自分たちの思うままにそれを大きくして行けばよいと考えていたのではないかと。そして、今の安倍政権になつてからは、全国の自衛隊基地で、この方法を一〇〇%活用しようとしているのではないかと。

自治体との「懇談」 めぐっての議論 総会で

総会では立川・昭島両市との「懇談」について、何人もの方から発言があり、面白い議論になりました。

今後、この議論を発展させ、運動の前進に役立てることが求められています。

報告と発言

岩田事務局長からは、昨年8月と今年の2月、両市と「懇談」し、「特別に何らかの要求を突きつけるのではなく、オスプレイ配備問題を中心に和やかに意見交換した」と活動報告がされました。

これに対し盛岡世話人から「少し違うのではないか。怒ったり追求したりするスタイルよりも、道理を説いて一歩ずつ実利をとることに努力をしてきている。引き続き取り組みを強めることが大事だと思ってい」と、報告を補強する発言がありました。

下村さんから「地方自治体の本来の役割は住民の命と暮らし、安全を守るためにあるのだが、残念ながら今の両市は違うのではないが。」



かつて米軍や国、都との防波堤の役割を果たしているようだ。

ここに穴を開ける努力、交渉が必要だが、市の姿勢を変える力は市民の運動、世論ではないか」との意見がありました。

これまでの「懇談」では両市とも、横田基地撤去に向けた方針や取り組みはみられません。

当面するオスプレイ配備に関する問題でも、「国や都からの情報提供はない」と、新聞情報程度の認識しか持っていない。

これで、市民の不安を解消できるのでしょうか。

立川・昭島両市の姿勢

立川市の「懇談」の相手は基地担当の企画政策課長で、さしたる権限も持っていないようですから、どうしても話を聞くだけになってしまいます。

昭島市の場合には副市長ができて、如才なく対応しますが、本心では「北川市長は基地撤去の立場ではな

いから、私たちも」と口をにごします。

持ち回りとはいえず、このような北川昭島市長が、基地周辺の五市一町協議会の幹事役をしたりしますから困ったものです。

どうしても私たちの運動、市民世論の強化がないと交渉はもろろん「懇談」も進まないような気がしません。

それでも、この間の「懇談」の結果、立川市ではいろいろな基地関連

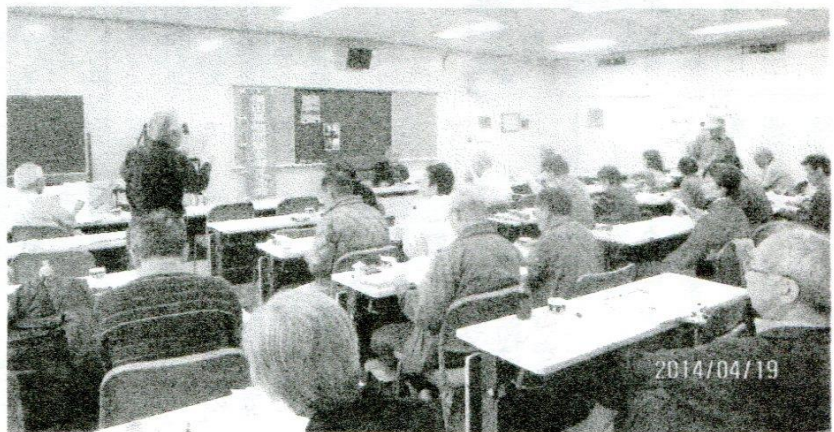
情報をこれまでよりも早く、広く議員（会派代表）に報告するようになるなどの前進もつくられています。

到達点ふまえ

議論・検討を

深めよう

このような、これまでの「懇談」の到達点を踏まえ、



2014/04/19

議会関係者なども交えて、総会の議論を発展させて、これからの対自治体交渉、「懇談」のあり方について検討、議論を深める必要があることが浮き彫りになった総会でした。

オスプレイ配備やめろ！

一万名の署名提出

横田基地への CV22オスプレイ 配備計画の撤回署名



横田基地公害訴訟の二つの訴訟団が、横田基地へのオスプレイの飛来・配備計画の撤回を求めて取り組んでいた署名が半年足らずで一万筆を超えた。

両訴訟団は二月二十五日、外務、防衛省に約一万一千

名の個人と八二団体の署名を提出。

「基地周辺住民の安全と健康をまもり、静穏な生活」のためオスプレイを配備するなと要請した。

新訴訟団の大野さんは「横田は普天間と同様に周

辺は人家が密集する。墜落や事故が多発するオスプレイ配備はやめるべきだ」と。

第九次訴訟団の青山さんは「基地の爆音や墜落が地震につぐ住民の不安。昭島市民の割の署名の重みを受け止めてほしい」と強く訴えた。

両訴訟団は今後、東京都にも要請するとともに、運動を広げ計画撤回に追い込みたいと語っている。

麻布米軍ヘリコプター基地撤去実行委員会が、四月に青山公園で「基地なくせ」と集会を開催。

一九六八年以来、四七回目になる集会では、一〇二デシベルの騒音と爆風を撤

麻布ヘリ基地をなくそう 四七回目の集会

き散らして低空でヘリが飛ば実態が映像で紹介され「米軍の横暴を許さず、基地をなくすまで粘り強く闘おう」と決意を固めあった。

読者の広場

(赤旗日刊紙)

集団的自衛権これは危険！

東京・昭島市 松井登志子(81歳)

日本共産党の小池晃議員が4日の国会で「集団的自衛権」は日本が武力攻撃を受けていない時でも武力行使を可能にするここかと質問したのに対し、安倍首相はさういふ定義だと平然と答えていました。これは、今まで曲がりなりにも平和を保ってきた日本が、大変な危険にさらされることになると思わず戦慄(せんりつ)をおぼえました。アフガンやイラクの戦争で自衛隊は、派遣されても武器を使って人を殺すことも街を破壊することもしませんでした。しかし北大西洋条約機構(NATO)加入のヨーロッパ諸国は、アメリカの始めた戦争に集団的自衛権のもとに参戦した結果、自国の兵士を失うなどの犠牲を出しました。イギリスなどは地下鉄などが破壊されるテロ攻撃を受け、国内で多くの犠牲者を出しました。

今の戦争は、戦地での破壊、殺し合いばかりでなく、参戦した国の足元も爆破されるおそれもあります。米軍横田基地を控えた街に暮らす私たちは、一層その危険を感じないでいられません。集団的自衛権の発動は絶対許すわけにはいきません。

同実行委員会は昨年五月のシンポジウムや、新年号のニュースの新春鼎談に出席していただいた友好団体。

「考える会」からは盛岡代表世話人が参加し「首都の米軍基地をなくすため、連帯の輪を広げて頑張ろう」と挨拶した。

天も見方、雨もふらずに 第2回立川駅宣に11人



たたかいのカレンダー

- 5月17日(土) 1時半〜
市民交流集会 実行委員会
- 5月19日(月) 6時半〜
考える会 世話人会
- 昭島公民館 3階第3会議室
- 5月18日(日) 1時半〜
横田基地座り込み
- 5月21日(水) 1時半〜
新横田基地公害訴訟裁判
- 6月15日(日) 1時半〜
横田基地座り込み
- 6月22日(日) 1時半〜
市民交流集会実行委員会
- 7月20日(日) 1時半〜
横田基地座り込み

**第5回
横田基地もいらない!
市民交流集会**
10月25日(土)
福生市民会館大ホール

(4月30日、東京新聞に載りました)

オスプレイ配備 反対の声上げる

市民グループ「横田基地問題を考える会」のメンバー11人が二十九日、JR立川駅北口で在日米軍基地への垂直離着陸機オスプレイの配備に反対する街頭活動を行った。

メンバーは「中街地を欠陥ヘリが超低空で飛行する危険を考えてほしい」「沖縄からも本土から

他団体の行動予定

- 5月25日(日)
横田・基地被害をなくす会 総会
- 5月25日(日)
沖縄県民と連帯する府中の会 総会

「日本中からオスプレイを追い返そう」と訴えた。

沖縄県の普天間飛行場には海兵隊のオスプレイMV22が二十四機配備されたが、さらに空軍用オスプレイV22の配備候補地に嘉手納基地や横田基地(立川市、福生市など)が浮上している。

オスプレイは開発段階から、乗組員が死亡する墜落事故が相次いだ。横田基地周辺の五市一町は配備反対の要請を防衛省などに提出している。

四つのお願い

会費

この会は皆さんの会費で運営しています。

駅頭宣伝のハンドマイク等を購入します。

4月から新年度です。ご協力下さい。

投稿・投書

この「ニュース」への、みなさんの投稿・投書を歓迎します。

世話人会

今回は遅くなりましたが、世話人会の日程を早目にお知らせします。

ぜひ、会員のみなさんのご参加・傍聴を期待します。

駅頭宣伝

次回は6月22日(日) 12時〜13時

立川駅北口
会員のみなさんの積極的ご参加をおねがいします。



国内にある米軍基地へのオスプレイ配備に反対を訴えるメンバー立川駅北口で

横田基地ウォッチング

- 2月24日 軍属の家族 強制わいせつで逮捕される (事件の発生は昨10月)
- 2月25～6日 パラシュート降下訓練 C-130Hなどタッチアンドゴー訓練
普天間からUC-35DTが飛来
- 3月3～7日 「サムライ即応監査 (SRI)」実施
米軍横田のホームページには「サムライ戦争に行く」などとある
- 3月11日 C-130H、砂袋投下 タッチアンドゴー訓練など夜10時近くまで
- 3月16日 基地撤去「座り込み」行動 60回をむかえる (80人以上の参加)
- 3月18日 FAA (連邦航空局) チャレンジャー 在韓米陸軍機C-12など飛来
- 3月26日・28日 パラシュート降下訓練 人のほか大箱も投下 タッチアンドゴーも
- 4月5日 ヘーゲル米国防長官 E4B空中指揮機で横田に降りる

(このコーナーは羽村平和委員会の「横田ミニ情報」を参考にしてています)

C-130の部品が降ってくる!!

新聞などの報道は小さい。だが、内容は大きく重い。米軍横田基地所属のC-130輸送機の部品紛失(落下)事故が二日連続でおきた。

三月二五日は掌大のアルミ製パネル、翌二六日には長さ60㍓・重さ4.5㍓のワイヤー状アンテナ。

万一、学校や交通の激しい道路などに落ちたら…と、想像するだけでゾッとする。

しかも、こうした部品落下は昨年七月にも起こっている。

このときはA4サイズのアルミパネルだ。さかのぼれば八七年以来九件もの事故があったといえる。

古い記憶をたどれば、横田基地が朝鮮戦争の出撃基地だった時代、砂川や金子に立て続けにB-29が墜落した。

危険な事故多発

ベトナム戦争の主役F105Dは青梅や府中、相模原に落ちた。

今の横田は、朝鮮戦争やベトナム戦争の時のような出撃基地とは違うが、あらたなアメリカの世界戦略の実戦基地へ変貌している。

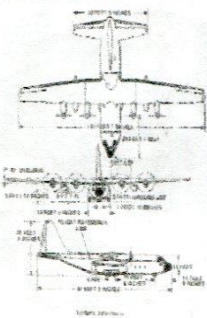
それと今回の事故は無関係ではないと思う。

たとえ、無縁と強弁しても基地にある限り事故はなくなるならない。そもそも軍用機は人殺しのための兵器だから事故の確率は高い。

しかも、この事故報告が横田基地広報部から横田防衛事務所経由で周辺自治体などに報告されたのは二八日。

二五日の昼ごろの事故が丸三日たたないと市や町にさえ知らされない。

その上、連絡を受けた自治体の対応にも温度差がある。



福生市はすぐに基地渉外担当から市議会議員などに連絡される。

しかし昭島や立川は基地対策などの委員会がないからと議員にさえも知らされない。

基地問題への姿勢、市民の安全に対する対応の違いなのか。

いずれにしても、我々、市民の運動の強化こそが求められているのだろう。

(下村)



325